《研究課題名》
　食道穿孔に対する手術治療成績

《研究対象者》
　2028 年 6 月 30 日までに、食道穿孔に対し当院で手術を施行された方

研究協力のお願い
　滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。
　なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について
《研究課題名》　食道穿孔に対する手術治療成績

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2028 年 6 月 30 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　外科学講座　大竹玲子

（２）研究の意義、目的について
《意義》
食道穿孔は、頻度は高くありませんが発症すると縦隔炎・膿胸・敗血症と病態が急速に重篤化する危険性があり、迅速な治療を要します。しかしながら治療方針については明確なガイドライン等はなく、手術治療についても議論のあるところとなっています。本研究により、食道穿孔に対する手術成績を検証することで今後の救命率を上げるための方策が発見でき得るという意義があります。

《目的》
本研究では、当院における食道穿孔に対する手術症例の治療成績について検証し、救命率を上げるための因子について検討します。

（３）研究の方法について
《研究の内容》
　本研究は，滋賀医科大学が単独で行う単機関研究で、探索的な後ろ向き観察研究です。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》
　カルテから得られる身体情報・既往歴・血液検査結果・画像検査結果・手術所見・病理所見・治療概要・予後情報・診療記録を利用します．

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学　学長　上本　伸二

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　外科学講座　大竹玲子
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2238
メールアドレス： hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp

©2016　Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.　Ver.4.2　2022.7.21